

■■■■■ 火の島と水の島 ■■■■■

# 屋久島町議会だより

令和8年（2026年）3月10日 No. 73



第13回屋久島町ふるさと産業祭り  
(尾之間屋根付きゲートボール場)

町民の声カウンター  
**46**  
令和3年10月～  
議会だより宛に届いた意見数

<input type="checkbox"/> 第4回定例会	P 2～8
<input type="checkbox"/> 決算審査特別委員会報告	P 9
<input type="checkbox"/> 一般質問	P 10～P 14
<input type="checkbox"/> 令和7年第7回全員協議会	P 14
<input type="checkbox"/> 令和8年第1回全員協議会	P 15

# 令和7年度第4回定例会

12月9日～19日

本定例会には、認定6件、条例案6件、補正予算案9件、同意1件、請願1件が提案され、審議しました。

12月9日(火)	開会
12月10日(水)	一般質問：寺田久志、中馬慎一郎、天辰絵美子、日高好作
12月11日(木)	一般質問：内田正喜、榎光徳、大角利成
12月12日(金)	常任委員会（総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会）
12月15日(月)	常任委員会（産業厚生常任委員会）
12月19日(金)	最終本会議

## 総括質疑

### 総合自然公園温泉条例（ゆのこの湯）廃止

○榎光徳議員

問）廃止後の跡地利用について検討はされているのか。

○観光まちづくり課

サウンディング調査として総合自然公園全体の利活用について民間事業者からどのような活用方法があるか意見徴収を進めている。



榎光徳議員

\*サウンディング調査とは、公共施設や町有地などの有効活用を検討する際の市場調査のひとつであり、単なる意見徴収とは異なり、自治体側が事業案を伝え、それに対する民間からの提案を引き出す、より実効性のある事業計画策定や事業推進を目指す調査方法です。

### 公共施設設備基金2億3,788万円減額

○天辰絵美子議員

問）減額の内容と今の公共整備計画に対し見直しは検討されているか。

○政策推進課

公共施設修繕等に充てるための財源として基金を積み立てていたが、今回の補正で財源不足が相当数出ており、その補填の為に積み立てをやめ、それを一般財源として充当した。計画の見直しについては、不要な公共施設は廃止、利用できるものは民間などへ払い下げを検討。現在の基金積立高は16億4,528万円である。



天辰絵美子議員

### 栗生漁港機能保全工事請負契約2億2,825万円締結

○大角利成議員

問）工期が3月31日までだが、年度内完成を見込んだ契約なのか。

○建設課

現年度予算として計上しているものの、工事の進捗に応じて次年度への繰り越し手続きを行う。



大角利成議員

## 海の環境対策委託料220万円、電気自動車購入1,850万円減額

○渡邊千護議員

問) 環境対策費減額の理由を示せ

○観光まちづくり課

今年度、海底2回海岸1回の清掃を実施したが、予算残で事業は継続中で最終的には変わってくる。令和5年、6年と続けてきた海の環境に配慮した認定制度導入事業研修会の見直しをし開催を見送った事と海の特設サイト運営管理費の執行残減額分が大きかった。

備品購入費減額については電気自動車を当初予算で電気自動車6台、充電設備6基、給電設備6台の購入を予定していたが、現在の状況を見て軽の電気自動車3台、給電設備1台の購入として変更したものである。



渡邊千護議員



## 物価高騰対策支援

物価高騰対策支援とは、、、

物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するために、地域の実情に応じたきめ細かい対応を行うことを目的とした国の補助事業です。

○重点支援地方交付金: 地方公共団体が地域の実情に応じて物価高対策を実施できるよう拡充。

○子育て世帯への支援: 0歳から高校3年生までに1人当たり2万円の子育て応援支給。

○生活者・事業者への支援: 食料品の物価高騰に対する支援や、中小企業等の賃上げ環境の整備をはじめ、生活者・事業者の方々に対する必要な支援。

屋久島町の支援事業

○プレミアム商品券支援事業補助金4,000万円

鹿児島県内4銀行が提携し発行しているペイどんアプリの地域振興ポイント制度を活用し、ペイどん1万円を購入した場合、20%にあたる2,000円のポイントを付与する。購入の上限は5万円とし、町内のみのポイント使用として、今回の予算の根拠としては4,000人分を見込んでいる。

\*デジタル商品券についてはデジタルスキルが不足している方などが公共サービスなどの不便を感じる情報格差とよばれるものもあれば、紙の印刷発行にかかる経費負担や物理的負担も考えられ、サービスのデジタル化には各市町村にばらつきが見られます。

○子育て応援手当3,700万円

令和7年9月30日現在で対象児童手当支給対象を養育する父母、また令和8年3月31日までに生まれる新生児も対象に一人20,000円支給、1,850人分を対象とし3,700万円を計上。

○ポイントカード会普及支援事業4,160万円が計上。

○渡邊千護議員

問) スマートフォンを持っていない町民、また家庭により所持している台数にもばらつきがあり、事業の趣旨から反するのではないか。代替案はないか。

○産業振興課

今回はキャッシュレス化をはかる町の方針に基づき、アプリを活用したい。

○大角利成議員

問) 町民全体の支援に対する議論はなかったのか。

○政策推進課

全町民向け支援事業の検討は各課で検討中。まずは早急に年度内に執行出来るものを優先し、予算計上した。交付決定補助金は約1億3,000万円残っており、引き続き内容を検討していく。

以上の質疑を踏まえ屋久島町の物価高騰支援事業が可決されました。

第4回定例会 第4回定例会 採決一覧

	結果	天辰 繪美子	寺田 久志	渡邊 浩	内田 正喜	中馬 慎一郎	相良 健一郎	大角 利成	渡邊 千護	榎光 徳	高橋 義友	日高 好作	渡邊 博之	小脇 淳智郎	石田 尾茂樹
令和6年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和6年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和6年度診療所事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度一般会計補正予算(第7号)の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
総合自然公園温泉条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
町乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
口永良部島光ブロードバンドサービス施設管理条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度上水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度診療所特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度船舶事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度電気事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
屋久島町教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議会への介護(高齢者・障がい者等)対策特別委員会設置(請願)	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
交通対策調査特別委員会の設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

欠席理由 渡邊博之・入院中のため

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

令和7年第4回 議会定例会 追加案件

	結果	天辰絵美子	寺田久志	渡邊浩	内田正喜	中馬慎一郎	相良健一郎	大角利成	渡邊千護	榎光徳	高橋義友	日高好作	渡邊博之	小脇淳智郎	石田尾茂樹
訴えの提起	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
栗生漁港機能保全工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
一般職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
屋久島町立学校職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和7年度屋久島町立一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

欠席理由 渡邊博之：入院中のため

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

令和7年第3回定例会採決一覧の訂正 (第72号・P5)

※地方自治法第117条の規定により、日高好作議員は退席しました。

	結果	渡邊浩	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹
安房荒茶加工施設の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

令和7年第3回臨時会採決一覧の訂正 (第72号・P7)

	結果	天辰絵美子	寺田久志	渡邊浩	内田正喜	中馬慎一郎	相良健一郎	大角利成	渡邊千護	榎光徳	高橋義友	日高好作	渡邊博之	小脇淳智郎	石田尾茂樹
令和6年度決算に基づく健全化判断比率の報告	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度電気事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

屋久島町議会だより NO.72号 の発行にあたり、採決一覧の名簿をはじめ、複数の記載内容に不十分な点があり、町民の皆様には読みづらい紙面となってしまいました。

今後は、確認作業をより一層丁寧に行い、広報委員4名が連携しながらチェック体制の強化を図り、内容の充実と正確な情報発信に努めてまいります。引き続き、町民の皆様にご覧いただける議会だよりとなるよう取り組んでまいりますので、ぜひご意見・ご感想をお寄せください。

屋久島町議会広報委員会

渡邊浩委員長、天辰絵美子副委員長、渡邊博之委員、中馬慎一郎委員

## 第4回定例会 総務文教常任委員会

【議案第74号 特別職の職員で非常勤職員のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】  
質疑・討論ともになく、採決の結果、原案どおり可決。

【議案第79号 口永良部島光ブロードバンドサービス施設管理条例の制定】

榎 光徳 委員

口永良部島で敷設された光ブロードバンドの管路について、町道以外の区間が見受けられるが、借地などの手続きは行っているのか。

総務課

公共用地内に敷設しており、借地は行っていないと。今後、新規引き込み工事の費用負担などについて整理が必要な課題がある。管路や附帯施設は管理委託の対象であり、指摘事項については今後確認する。

【議案第80号 令和7年度一般会計補正予算（第8号分割）】

〈政策推進課所管〉

渡邊 千護 委員

多目的交流センター整備事業で、選定委員関係経費が減額された理由はなにか。

政策推進課

DBO方式を見直し、補助金活用を前提とした通常方式に変更したため、関連経費を減額した。

石田尾 茂樹 委員

船舶事業特別会計への補助金は、後に国・県補助金で精算されるのか。

政策推進課

航路補助の対象となり、年度のずれはあるが、後に国・県補助金で精算される。

〈地域住民課所管〉

渡邊 千護 委員

安房総合センターの修繕費は、どの空調設備か。

地域住民課

安房総合センター会議室の空調設備である。

榎 光徳 委員

安房総合センターのピアノについて、他施設での活用は検討されたか。

地域住民課

現時点では具体的な協議は行っていない。

〈教育総務課〉

渡邊 浩 委員

学校給食調理場の球根皮むき器は東部のみの更新か。

教育総務課

全調理場に設置しているが、今回は東部調理場の機器更新である。

【議案第86号 船舶事業特別会計補正予算（第3号）】

質疑・討論ともになく、採決の結果、原案どおり可決。



フェリー太陽II



安房総合センター

## 第4回定例会 第4回定例会 産業厚生常任委員会

### 【議案75号 総合自然公園温泉条例の廃止】

大角利成委員

廃止の方針を町が出すまでに、課内外でどの程度議論がされたのか。

観光まちづくり課

決算審査の意見を踏まえ廃止に至った。サウンディング調査し、町の計画で規模縮小や廃止を検討した。

### 【議案78号 乳幼児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について】

天辰絵美子委員

受け入れ態勢は整っているのか。

福祉支援課

5園が実施の意向あり。事業開始時は町が告知を行う。利用料が決定しておらず1月中には決定したい。

### 【議案第80号 令和7年度一般会計補正予算（第8号分割）

〈福祉支援課所管〉

大角利成委員

高齢者福祉バス助成について、周知方法は。

福祉支援課

町報、ホームページ、防災無線等で行っていく。

天辰絵美子委員

子ども通院費等助成金に関しては、大きく見積もっていただきたい。

福祉支援課

町の持ち出しも多く、財政との協議で見直しの必要であると指摘。

〈建設課所管〉

日高好作委員

社会資本整備総合交付金事業費の工事請負費24,000千円の減額について内容は。

建設課

竹山線道路改修工事15,000千円の増額。安房中通線舗装補修と鯛の川線道路改良工事が39,000千円の減額。

〈観光まちづくり課所管〉

中馬慎一郎委員

山岳部保全対策費の消耗品費の非常食の入れ替えは捌くのが大変。入れ替えの時期を検討してはどうか。

観光まちづくり課

今回、360食分を購入。福祉等に協力をもらい分配できた。今後は、有効活用も検討していく。

天辰絵美子委員

非常食更新の際、格安販売や各集落の防災訓練で活用する等、多岐にわたる利活用方法を検討して欲しい。

寺田久志委員

観光費のプロモーション業務委託の3,000千円減額、委託の内容は。

観光まちづくり課

今年観光基本計画を作成の中で、効果的なプロモーションの在り方を再度検討し今回見送った。

〈生活環境課所管〉

大角利成委員

し尿処理施設について、今後の考え方、見通しは。

生活環境課

廃棄物の審議会にて、長寿命化の結論が出た。

### 【議案第83号令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）】

天辰絵美子委員

地域密着型介護サービス給付費負担金40,000千円と特定入所介護サービス負担金5,700千円減額の内容は。

健康長寿課

各事業所の実績によって変わってくる。

### 【議案第88号令和7年農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）】

大角利成委員

毎年の一般会計からの繰り出しを考えると早く区切りをつけて良いのではないのか。

生活環境課

課内で検討していく。

## 産業厚生常任委員会 現地調査

現地調査日（12月15日 午前10時～12時）

町エネルギー回収型廃棄物処理施設（新ごみ処理施設）建設工事の履行遅延を受け、現地調査・視察に行きました。今回の遅延の原因は、処理飛灰の基準超過、非常時（停電時）の焼却施設稼働停止、プラント水槽の温度改善が必要であるためであり、実際に履行遅延となっている設備の箇所を視察し説明を受けました。

また町営住宅では永久保団地が空き家となっており、物件の現状や周辺環境を視察。早期の空き家の利活用に向け、担当課より現状等説明を受けました。



町エネルギー回収型廃棄物処理施設



空き家となっている町営住宅

### 令和7年請願第4号

#### 屋久島町議会へ介護（高齢者・障がい者等）対策特別委員会設置を求める件

令和7年12月12日、屋久島町役場本庁舎において、産業厚生常任委員会が開催され、屋久島町議会へ介護（高齢者・障がい者等）対策特別委員会設置を求める件について審査を行いました。

本請願は、島内の介護現場が抱える課題を整理し、議会として継続的かつ専門的に議論する場を設けることを目的として、複数の介護事業所から提出されたものです。

審査では、担当課長から、島内の介護・障がい福祉事業所の現状について説明があり、事業所と町との間で大きなトラブルは生じていないことが報告されました。

一方、委員からは、施設の規模や形態によって課題が異なり、現場の声が見えにくい部分もあるため、意見を集約する仕組みの必要性が指摘されました。

討論では、請願の趣旨は、少子高齢化が進む屋久島町において重要な課題であり、議会として速やかに対応すべきであるとの意見が述べられました。採決の結果、起立多数により本請願は採択されました。

今後、議会として介護・福祉分野の課題解決に向けた取り組みを進めていくこととなります。

### 交通対策調査特別委員会設置

屋久島町の交通対策の調査・研究を行うことを目的に屋久島町交通対策調査特別委員会を設置。

目的

- ① 屋久島空港滑走路延伸事業の早期完了について
- ② 高速船及びフェリー屋久島2の更新について
- ③ 屋久島町内の交通の利便性の向上について

\*委員長には榎光徳議員、副委員長には日高好作議員が選任されました。

2月2日に行われた全員協議会では政策推進課より、町の今後の取組について、以下の点が報告。

- ・空港滑走路延伸事業…建物等調査、用地説明会の開催、用地取得・建物等補償
- ・地域公共交通…屋久島町地域公共交通活性化協議会の開催（ライドシェアの検討等）

# 決算審査特別委員会報告

## 令和6年度 屋久島町一般会計ほか決算認定

令和6年度屋久島町一般会計および簡易水道事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、診療所事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算審査が、10月14日から20日まで行われました。

一般会計では、歳入総額148億6,776万5,866円、歳出総額138億4,806万1,641円となり、歳入歳出差引額は10億1,970万4,225円でした。このうち、令和7年度へ繰り越すべき財源4億9,609万3,772円を差し引いた実質収支額は5億2,361万453円の黒字となり、令和6年度の決算は認定。

○一般会計における主な内容

### 政策推進課

地域公共交通対策として、日本版ライドシェアの運用について協議を継続中。また、多目的交流センター建設事業は、物価高騰や補助金の活用制限により公募を見合わせている状況が報告されました。

### 総務課

熊毛消防組合負担金について、人件費差額分約3億2,200万円の減額が示されました。また、町職員の採用・退職状況について質疑が行われました。

### 地域住民課

安房支所について、雨漏り等の修繕を随時行っているものの、今後は建物全体を見据えた管理計画の検討が必要とされました。

### 観光まちづくり課

空き家バンクの登録状況や、山岳部環境保全協力金の管理体制見直しについて、議論が行われました。

### 健康長寿課

高齢化の進展により、職員の兼務が常態化し、業務負担が大きいとの課題が示されました。

### 会計課

収納業務の効率化に向け、電子システムの改修・構築を進めていることが報告されました。

### 産業振興課

輸送コスト支援事業補助金では、水揚げ量減少に伴う輸送コストの変化や、急速冷凍機導入後の水産加工品の販路状況について質疑がありました。

### 建設課

災害復旧事業の明許繰越について、災害査定や県の審査手続きにより工事が遅れたとの説明がありました。

### 教育総務課

八幡幼稚園の継続については、今後の状況を見ながら検討していくとの答弁があり、あわせて教職員住宅やスクールバス委託事業についても質疑が行われました。

### 社会教育課

各集落公民館の大規模改修事業の進捗状況、スポーツ団体への補助の増額について質疑が行われました。

### 福祉支援課

すこやかふれあいセンター修繕後の状況についてや障がい者サービスについて本町での取り組みや業務内容について議論が行われました。

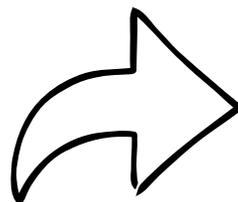
# □ 一般質問 □

## 14人中7人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。一人の議員に与えられる制限時間は60分です。

(議員本人の責任において掲載しています)

<b>1、寺田久志 (てらだひさし)</b>	P	<b>4、日高好作 (ひだかこうさく)</b>	P
1. 屋久島の森林について 2. 町内の防災対策について 3. 森林環境税の用途について	11	1. 町営住宅の運営について 2. 観光の振興について 3. 機構改革について	12
<b>2、中馬慎一郎 (ちゅうまんしんいちろう)</b>		<b>5、内田正喜 (うちだまさき)</b>	
1. 空港滑走路延伸事業について 2. 地域計画と集落支援について	11	1. 物価高騰対策について	13
<b>3、天辰絵美子 (あまたつえみこ)</b>		<b>6、榎光徳 (えのきみつのり)</b>	
1. 保育園留学について 2. 空き家対策について 3. 人口減少について 4. 先を見据えた医療・介護・福祉の提供について	12	1. 榑川棚田の水源地改修について 2. 法務局の代替業務について	13
		<b>7、大角利成 (おおすみとしなり)</b>	
		1. 有害鳥獣被害防止について 2. 行政財産の管理について	14



屋久島町議会チャンネル配信中

### 動画でチェック

一般質問の様子を、動画で観ることができます。下の表に表示されているQRコードを読み込むか、YouTubeで「屋久島町議会」と検索してください。

12月9日



12月19日





寺田久志議員



屋久島の森林



中馬慎一郎議員



空港滑走路事業

○これからの屋久島の森林について

(問) これからの屋久島森林のビジョンを「屋久島町」としてどのように考えているか。

(答) 本町の森林資源は、スギを中心とした人工林は利用期を迎えている。島内における木材需要の低迷が課題である。この状況を打破すべく島外出荷に取り組んでいる。更に、少しでも島内需要を高めるため「木育」にも取り組んでいる。これからは課題共有しながら、屋久島の森林を利用と保全の両輪で守って行くことが、ここに住む我々の責務だと考えておりますので、地域の森林整備の中核的担い手である森林組合や林業・木材産業に従事する方々をはじめ、他の産業の方々と連携を図りながら推進していく考えである。

(問) 私たちが住む屋久島の自然環境は、世界にも誇れるポテンシャルを持った島である。屋久島独自の取組を発信するべきではないか。

(答) 世界自然遺産に登録された屋久島の特異な森林資源の有効活用や自然環境に配慮した森林情報整理及び利用計画等を策定し、持続可能な林業・木材産業振興に向けた取組方針を発信していく必要がある。

策定中の「屋久島森と人との共生ビジョン」いわゆる「森林ビジョン」につきましては、「世界自然遺産の屋久島の林業」について、島内及び外部に発信していくことを目的としている。

○森林環境税の用途について

(問) 令和6年度から環境税として徴収が開始された。この税は森林等における脱炭素社会実現のための財源であるが、現状と今後の用途について示していただきたい。

(答) 森林整備を進めて行くにあたり、林業・木材産業に従事する担い手の不足等が大きな課題となっている。

2050年の脱炭素社会の実現へ向けた国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設され令和6年度は約3,270万円が配分された。

(問) 基金としている3,270万円は、今後どのように活用しようと考えているか。

(答) 森林整備等に関するメニューとして、皆伐地の再造林のための苗木生産補助や、森林整備促進を図るための林道の維持管理費用の助成のほか、間伐材等の陸送運搬にかかる費用の一部補助、林業機械のリース費用及び購入やGPS等測量機器の機材導入費用の一部補助等を行っている。

この他、「町内の防災対策」について質問しました。

○屋久島空港滑走路延伸事業の経過と今後の計画

(問) 屋久島空港滑走路延長現地推進本部での情報発信、情報集約、早期完成に向けた取り組みについて。

(答) 本庁フォーラム棟には屋久島高校書道部にも協力を頂いた看板設置を行うなど事業推進の機運を高めている。今後も鹿児島県と共に早期共用に向けて積極的な情報発信を行っていききたい。

(意見) 町長自らも事業の経過を説明する場をひとつでも多く設け、町民の声を聴いて欲しい。

(問) 本事業による効果で、町の入込客数はどれぐらいを想定か。またどのような対策を考えているか。

(答) 第2次観光基本計画の検討を踏まえ29万人を見込んでいる。関東圏からの旅行者及び訪日客への魅力情報発信や受け入れ対策が重要だと考える。また観光客満足度が向上するよう観光業者との連携を強化していききたい。

(問) 延伸工事において島外作業員宿泊対策は検討しているか。

(答) まだ具体的な対策は決まっていない。施工主体となる鹿児島県と共に必要な対策を検討していききたい。

意見) 現在の島内の宿泊キャパを考慮すると、観光への影響も懸念されるので早めの対策検討を要望する。

○地域計画と集落支援の見解について伺う

(問) 町の地域振興計画の策定に向けて各集落の意見や声は反映されているか。

(答) 第2次振興計画策定では各集落ヒアリングや108名が参加した街づくりミーティングを実施、アンケートでは358件の回答を頂いた。

(問) 計画策定や事務代行など専門性が問われる業務について人材育成を含めた取組計画は検討しているか。

(答) 専門性の高い業務においては民間の外部リソースを活用し効率的な行政運営を目指す。第3次振興計画策定では外部コンサルと職員の業務分担をはかりながら効果的かつ実効性のある計画に仕上げていききたい。

(問) 集落支援員の見解を伺う。

(答) 総務省の制度にある支援員は各集落区長を配置し、各集落の要望や声を反映していくよう努めている。



天辰絵美子議員



保育園留学



日高好作議員



町営住宅の運営

○保育園留学制度

(問)開始時期・選定方法、宿泊施設、家族の募集方法は。

(答)希望があった保育園より園を選定後、民間事業者へ委託し、体制が整い次第実施する。町営・民間住宅とも貸せる空き家が不足しており、民宿等に滞在を考えている。民宿、(一棟貸し)を数件、観光協会に紹介依頼検討中。

民宿は、町から数件委託業者に提案し家族に選択してもらう。

○空き家対策

(問)空き家の状況、戸数、期間、管理者、意向調査、町の把握状況は。

(答)空き家バンク制度にて空き家の有効活用の推進と状況把握に取り組んでいる。

令和2年11月から、空き家バンク登録物件総数は、賃貸51件、売買16件。地域おこし協力隊より住宅改修に係る経費や登記の煩雑さなどの課題や問題報告を受けている。空き家として活用できる軒数は把握していない。地域おこし協力隊員が各集落の区長より把握している軒数は確認している。

(問)全国的にも空き家の問題が深刻化しており、空き家の現状把握・物件数を明確にすることが重要。空き家などを活用する企業との連携協定や空き家対策推進室などを設置しているところもある。町の空き家の改修費用の支援事業申請状況は。

(答)令和6年度は14件、令和5年度は9件の改修を行った。

(問)住宅のリフォームには多額の費用がかかる。2分の1支援制度を撤廃して100万円を限度額として満額補助をすれば、空き家バンクの登録件数が1軒でも増加するのではないか。撤廃の考えはないか。

(答)補助については、移住推進のための住宅改修に対する補助金だが、町民と移住者の公平性を勘案し、補助率の在り方を検討していく。空き家バンクの登録数を増やすために、まず町民への周知をはかりながら、この補助制度の検討も併せてしていく。

(意見)空き家の登録の件数を1軒でも増やし、ネットを活用して情報発信をし、1人でも多く島外の方が移住し、島内の方にも公平性を持った施策、支援を行って欲しい。

この他、「人口減少」と「先を見据えた医療・介護・福祉の提供」についてを質問しました。

○町営住宅の運営について

(問)町営住宅の運営で、永久保住宅や安房中学校教員住宅、古い住宅の取り扱いの方向性は。

(答)集落からの強い要望もあり、現地確認や半年間の協議を踏まえ払い下げの方向をもって取り組みを進めたい。他の単独住宅や安房中教員住宅・古い教員住宅についても、措置が可能であれば検討を進めていきたい。

(問)募集しても希望者がいない世帯住宅もたくさんあるが、一定期間過ぎたら単身者も入れるべきでは。また、シェアも検討すべきではないか。

(答)補助金で作っている物は、償還が終わらないと自由に出来ない制約があり苦慮している。

(問)政策空き家の基準についてどのように考えているか。長いものでは30年以上にもなる解体できない建物もあるが。

(答)政策空き家は耐用年数が過ぎ、建て替えや用途廃止までの間留め置かれている。明確な基準はなく自治体の裁量権に委ねられている。

(問)町が政策として何年後には解体しますと打ち出し、入居者には家賃の優遇策もあるわけですから対応すべきではないか。

(答)裁量権をフルに使って、町自体でやる独特な方法を編み出していきたい。

(問)町営住宅の運営について、地元の不動産や建築業者も交えた協議も必要では。

(答)建設業務の会計年度任用職員もいるので、まずはそういう職員と連携して業務を進めていきたい。

○観光の振興について

(問)観光の振興について、空港の延伸化やホテル建設予定に伴い、業者の方の宿泊が増え、観光客の宿泊に影響が出るのではとの懸念があるが。

(答)町としては継続して広く情報収集に努め、本格的な工事着工前に観光事業に影響がないように、県や観光協会及び宿泊事業者との情報を共有して対応したい。

○機構改革について

(問)機構改革について。住民のサービス向上や要望等に素早く対応するために松戸市にある「すぐやる課」のような課の必要性はないか。

(答)行政事務の範疇で住民からの要望や指摘があった場合、即時対応できることはすぐに対応や改善を図ることは職員として当然のことと思っている。対応が遅い事案もあるようなら職員の意識改革を図っていく。



内田正喜議員



物価高騰対策



榎光徳議員



榎川棚田の水源地

### ○物価高騰対策について

(問) 現在の社会情勢において物価の高騰は、町民生活に大きな影響を及ぼし、日々の暮らしに直結する深刻な課題であり、町としても早急な対応が求められるが、これまで屋久島町で「物価高騰重点支援交付金」を活用し実施された事業と効果について伺いたい。

(答) 令和2年度より効果的に行われている。低所得者世帯向けの支援やプレミアム商品券などの消費喚起事業、農林水産事業者への経営支援、学校、保育園等の保護者負担軽減、介護サービス事業への支援、その他、事業者支援に資する事業を行っている。

(問) 今回、屋久島町に分配される交付金はどの程度想定しているか。

(答) 2億1,300万円程度見込まれている。

(問) 今回の臨時交付金で地域の実情に応じた物価高の影響を緩和するという一方で、生活者、事業者の支援を行えるようプレミアム商品券、電子クーポン券、地域ポイント等ありますが、地域の中小事業者を助けるためにも、できれば早い段階でやって頂きたい。

(答) 実施可能かどうかについて、担当課と協議をしております、せっかくの重点支援交付金なので、影響を受けている皆様に幅広く対応できるようなことを最優先として考えていく。

(問) 物価高騰に伴う子育て世帯への支援として、小中学校における学校給食費の無償化及び、屋久島高校のスクールバスの無償化も出来るようであればやっていただきたい。

(答) この交付金とは別に、給食費の無償化とスクールバスは、全額町が補助をするという方向で進めている。



### ○榎川棚田の水源地早期改修について

(問) 楠川・榎川・小瀬田・長峰の区長から提出された請願書が廃案となったが、町長はどうとらえ、どう計画していこうとしているか。

(答) 棚田の復活は喜ばしいことだが、非常に厳しい場所であり、地元区長や「棚田を守る会」とも意見交換を行い検討したい。

(問) 地元では、「屋久島最大の棚田であり、集落の宝だ」と自負している。水源地を20cm～30cmかさ上げすることで、取水口の水位が上がり水源が保たれる。これまでも、地元有志で手作業による応急工事を行い大変苦労している。抜本的な改善策は無いのか。

(答) これまでも、担当者へ指示をしていたが双方の日程が合わず現在に至っている。今月中には日程調整をし、補助制度の説明を含め意見交換をしたい。

(問) 地元では、区民以外の方々(PTAや移住者グループ等)も受入れ、耕作放棄地解消の為、稲作のみならず、からいもや他の作物への転作を行うなどさまざまな努力をしてきている。

8月には、何百もの灯ろうを灯し幻想的な情景の中で地域の人たちが一堂に集い、慰労会を行う等、絆を深めている。町として手立ては出来ないのか。

(答) 農地保全活動事業として60万円の助成をしている。又、榎川地区は活用していないが、多様なメニューに対応できる土里里サークル事業があるので活用を促したい。

### ○法務局閉鎖による高齢者や事業者への負担について

(問) 令和7年7月付で法務局が閉鎖となった。各種登記事務や窓口業務に支障をきたしていると思うが、町民からの意見は寄せられていないか。

(答) 現在、不動産登記等は多くの方々から司法書士に依頼をしているようだが、高齢者や事業者に負担が生じているとの声は承知している。登記事務は町が代行することは出来ないが、町民の皆様の手続きが円滑にできるよう、情報提供や必要な手順、オンライン申請の活用支援、郵送による手続き方法の案内等、可能な範囲で適切に対応したい。

(問) 高齢者やITに精通していない人は大変である。伊仙町や泊町では、サービスセンターが設置されているが、本町では出来ないのか。

(答) 手続き件数が2万件以上という国の基準があり難しい。

(問) 町長の強固なパイプを駆使し、基準の緩和に向け国への働きかけは出来ないのか。

(答) 非常に厳しいとは思いますが、そういう場があれば申し上げていきたい。

## 令和7年第7回全員協議会(令和7年10月22日)



大角利成議員



有害鳥獣被害防止

### ○有害鳥獣被害防止対策

(問)シカ・サル・タヌキ等の捕獲状況は。

(答)令和6年度は、シカ1,868頭、サル630頭、タヌキ508頭で、7年度上半期はシカ916頭、サル209頭、タヌキ153頭である。

(問)農作物等の被害状況は。

(答)平成26年度をピークに減少、ここ数年は横ばい。令和6年度は増加、特にサル・ヒヨドリによる被害が急増で、被害額は4,200万円程度。

(問)原区が設置している大型捕獲施設を他区に整備する考えは。

(答)多くの群れを捕獲した実績がある。管理面の負担が大きいことから移動可能な組み立て式大型罠の導入等を検討したい。

(問)猟友会の活動支援を充実すべきでは。

(答)新たな支援を行う局面に来ている。関係者の意見も伺いながら検討したい。

(問)ヒヨドリ被害防止のサンテ・防鳥網購入補助金の支給限度額を見直すべきでは。

(答)幅広く意見を集約した上で制度の見直しも含め検討したい。

### ○行政財産の管理

(問)栗生夜間照明施設グラウンド整備用の乗用型草刈機を購入する考えは。

(答)施設の除草作業団体には、燃料の現物給付支援を実施しており、乗用型草刈機使用希望団体には町所有の機械を貸し出している。現時点では新たに購入は考えていない。

(要望)機械貸し出しの際は、町の責任で搬送等の対応をして欲しい。年間通しての手作業、特に夏場は高齢者にとっては重労働である。早い時期に機械を購入して対応して欲しい。

### 多目的交流センター建設事業の進捗について

物価上昇や人件費高騰により、建設費用が大幅に上昇することや補助金関係などを検討した結果、完成が当初予定の令和11年より2～3年完成が遅れる。

(問)渡邊博之議員

事業を白紙に戻す選択肢はないか、また離島開発総合センターの状態はどうか。

(答)政策推進課

避難所機能の必要性が高いので、規模縮小を含めて検討。同センターは震度7以上に耐えられない診断で、屋根の防水機能も低下している。

(意見)榎光徳議員

隣接の陸上競技場等も含め、総体的な計画で進めてほしい。

(問)中馬慎一郎議員

DBO方式では維持管理が年間1億との事だが、施設の利活用による収益が上がるような検討はないのか。

(答)政策推進課

イベント等で収益等も検討したが、現設計では収益をあげることは難しい。

(問)天辰絵美子議員

防災拠点として防災機能強化であれば、費用増は町民の理解が得られるのではないのか。

(答)政策推進課

防災機能を充実させた変更は今後の参考にしたい。

### 旧尾之間支所跡地について

民間事業者からの応募がなく、中央公民館等の利活用も併せて公民館提案型の募集について説明。

(意見)大角利成議員

行政側から利活用の提案をし、中央公民館や隣接の土地も含めた方向性を見いだす必要がある。

(問)寺田久志議員

県外も含めて事業者をあたる必要性の考えはないか。

(答)政策推進課

ホームページで公表し、幾つかの事業者に声掛けはした。

(問)渡邊博之議員

町は周辺の土地も含めた利活用の考えで良いのか。

(答)政策推進課

現公募は庁舎跡地のみ。中央公民館や図書室は令和12年まで使う方針がある。保健センター、出張所は、応募民間の意向を聞いて、全体的な利活用を柔軟に対応したい。

### その他、委員の選任

○都市計画外部検討委員会委員

榎光徳議員、小脇淳智郎議員

○第2次観光基本計画策定委員

渡邊博之議員委員

また、生活環境課より、ごみ処理新施設の進捗状況について説明があった。

## 令和8年第1回全員協議会（令和8年2月2日）

### 宮浦小学校・中央中学校の高台移転について

#### ◆ これまでの経緯

令和6年12月、屋久島町PTA連絡協議会より、中央中学校を含めた高台移転および施設更新を求める要望書が提出。

これを受け、教育委員会では令和7年4月に宮浦小学校・中央中学校に在学する児童生徒および保護者を対象としたアンケート調査を実施。



#### ◆ 教育委員会の方針

アンケート結果および現在の施設状況・災害リスクを踏まえ、次の方針が示されました。

##### ・ 建て替えの必要性

宮浦小学校は築後63年が経過しており、改修による長寿命化には限界がある。

##### ・ 高台移転の必要性

両校舎は、南海トラフ地震発生時の津波浸水想定区域に指定されており、同一敷地での建て替えは現実的ではなく、高台移転が不可欠。

##### ・ 候補地の考え方

生徒数や通学の利便性、アンケート結果を踏まえ、宮之浦地区の高台が最適と判断。

##### ・ 移転候補地

宮之浦総合グラウンド、野球場、宮之浦体育館周辺の敷地。

#### ◆ 現状の課題と今後の展望

移転候補地が「屋久島町多目的交流センター」の事業用地と重複していることから、同センターの事業見直しと併せ、体育館・図書室など重複機能の整理・合理化を含めた基本計画の再検討が必要であり、事業費の削減や事務効率化、特別教室等の重複解消を図るため、小中合同校舎化についても検討を進める。町全体として、各学校の老朽化、高台用地の不足、児童生徒数の減少、教職員の臨時免許教科増加などの課題があり、小学校統合も含めた持続可能な教育環境整備の議論が必要。

※ 議員からは、高台移転には賛成としつつ、他学校や地域への配慮、全島の児童生徒・保護者を対象としたアンケート実施などの要望。

### 学校給食センター建設について

給食センターの老朽化や児童生徒数の減少を背景に、3つの給食センター統合について説明が行われました。事業方式については、民営では将来的な経営面での不安要素があるとの意見があり、従来型の公的運営が望ましいとの考えが示されました。建設候補地については、各学校への配達時間が2時間以内となる場所を検討されていることが報告。



### その他の報告事項

- ・「世界自然遺産ネットワーク協議会」と「世界自然遺産5地域会議」の統合
- ・屋久島環境文化財団 新理事長に、中村耕治氏が就任

また、議員間で総合戦略推進会議委員に渡邊博之議員が選任。そして交通対策調査特別委員会、介護（高齢者・障がい者等）対策特別委員会の今後の進め方について協議が行われた。

## ● 町民の声 ●

・『屋久島町議会だより』No.72を読みました。今回も隅から隅まで。新たなメンバーによる編集、大変お疲れさまでした。「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」紙面作り、大いに期待しています。引継ぎはされたのでしょうか。これまで積み上げられたことを是非ともいかしてほしいと思います。

## ● ご意見募集 ●

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。氏名、住所、連絡先等の内容が分かるようにお願いいたします。

郵送〒891-4207 屋久島町小瀬田849番地20  
メール：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp  
(議会事務局)までお願いします。

### 編集後記

議会広報73号発行にあたり、広報委員長を中心に新しい編集ツールで作成致しました。議会をより身近に感じて頂き、読みやすく、わかりやすい議会広報作成に努めてまいります。

天辰 絵美子



## ◇ 議会を傍聴しませんか ◇

次の定例会は3月10日より開会  
予定です。

※都合により変更となる場合があります。

## ◇ 議会の動向 ◇

日付		内容
1	3	ふるさとを想う二十歳の集い
	6	屋久島町消防出初式
	20	町村議長会議員研修会 (鹿児島市)
	24	商工会新春賀詞交流会
	29	後期高齢者医療広域連合議会議員研修会 (鹿児島市)
	30	熊毛地区消防組合令和8年第1回定例会 (西之表市)
	31	姉妹・友好都市交流会
2	1	屋久島町ふるさと産業祭り
	9	鹿児島県後期高齢者医療広域連合定例会 (鹿児島市)
	17	鹿児島県町村議長会第75回定期総会 (鹿児島市)
	17	鹿児島県離島振興町村議会議長会定期総会 (鹿児島市)
	20	種子島屋久島議会議員大会議長会 (鹿児島市)
	20	種子島屋久島振興協議会第2回総会 (鹿児島市)
	21	県下一周駅伝競走大会熊毛チームスタート応援 (鹿児島市)
	22	サイクリング屋久島
	28	屋久島町生涯学習大会
3	2	屋久島高校卒業式

令和8年3月号 第73号屋久島町議会だより 発行責任者：屋久島町議会 議長 石田尾 茂樹  
編集責任者：屋久島町議会広報委員会

(渡邊浩委員長：天辰絵美子副委員長：渡邊博之委員：中馬慎一郎委員)

TEL 0997-43-5900 (議会事務局)

Mail：gikai@town.yakushima.kagoshima.jp